

JFEシステムズ株式会社

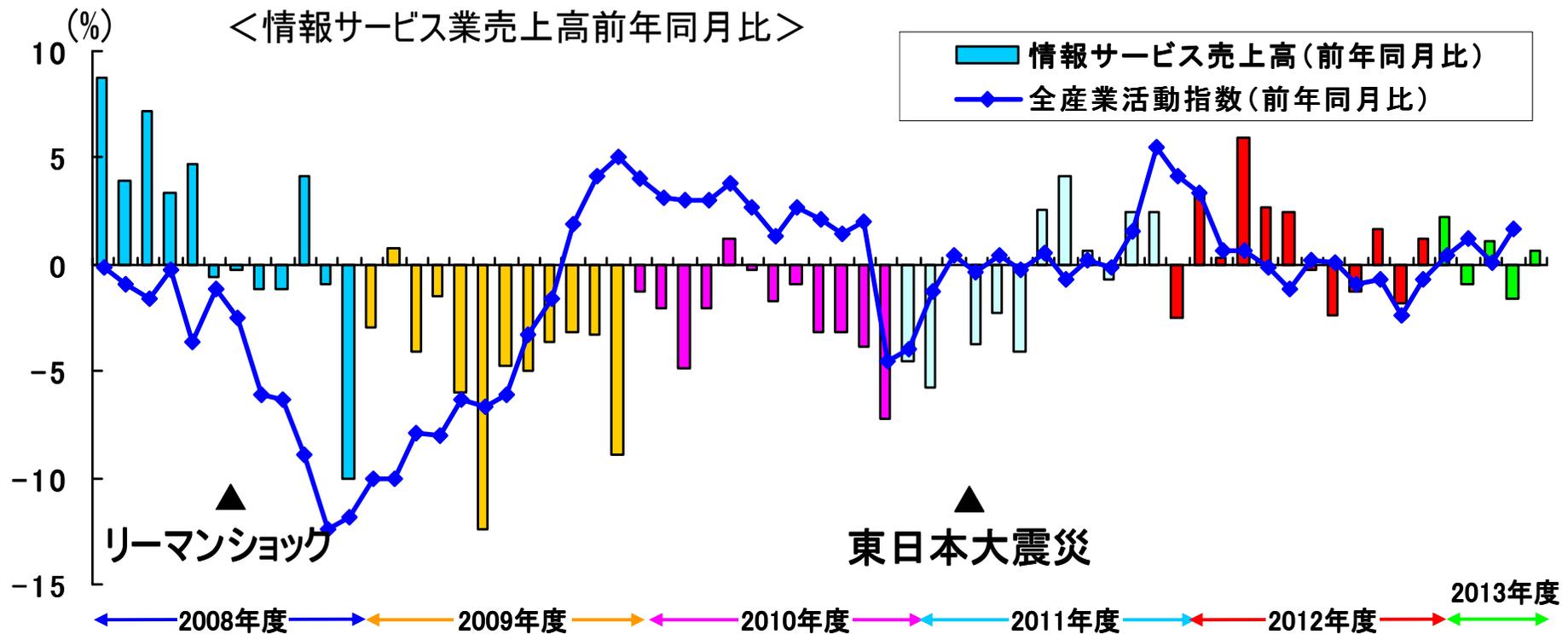
2013年度上期 決算説明会

2013年10月25日

- I . 2013年度上期
 (4月～9月)決算概況 P 5
- II . 2013年度通期業績見通し P 9
- III . 中期課題の推進と主な取組み P14

事業環境認識

- 情報サービス業界はリーマンショック以降マイナス成長が続き、2011年度下期から2012年度上期にかけて改善の兆しがみられたが、その後横ばいで推移。
- 当社外販ビジネスにおいて、自動車分野のIT投資は好調であるが、他の業種では、一部で好転の兆しはあるものの、回復基調までには至らず、厳しい状況が継続。
- JFEスチールは収益向上施策を推進中であり、引き続きIT投資は抑制傾向。



2013年度業績の概要

【2013連結売上高の概要】

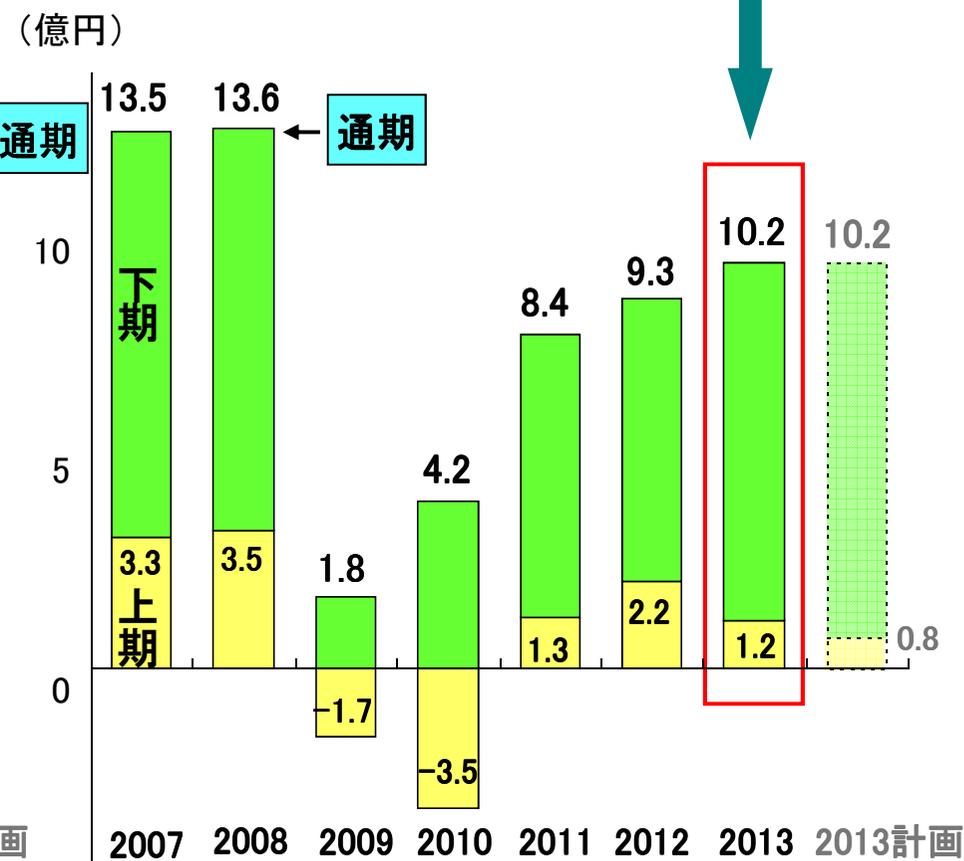
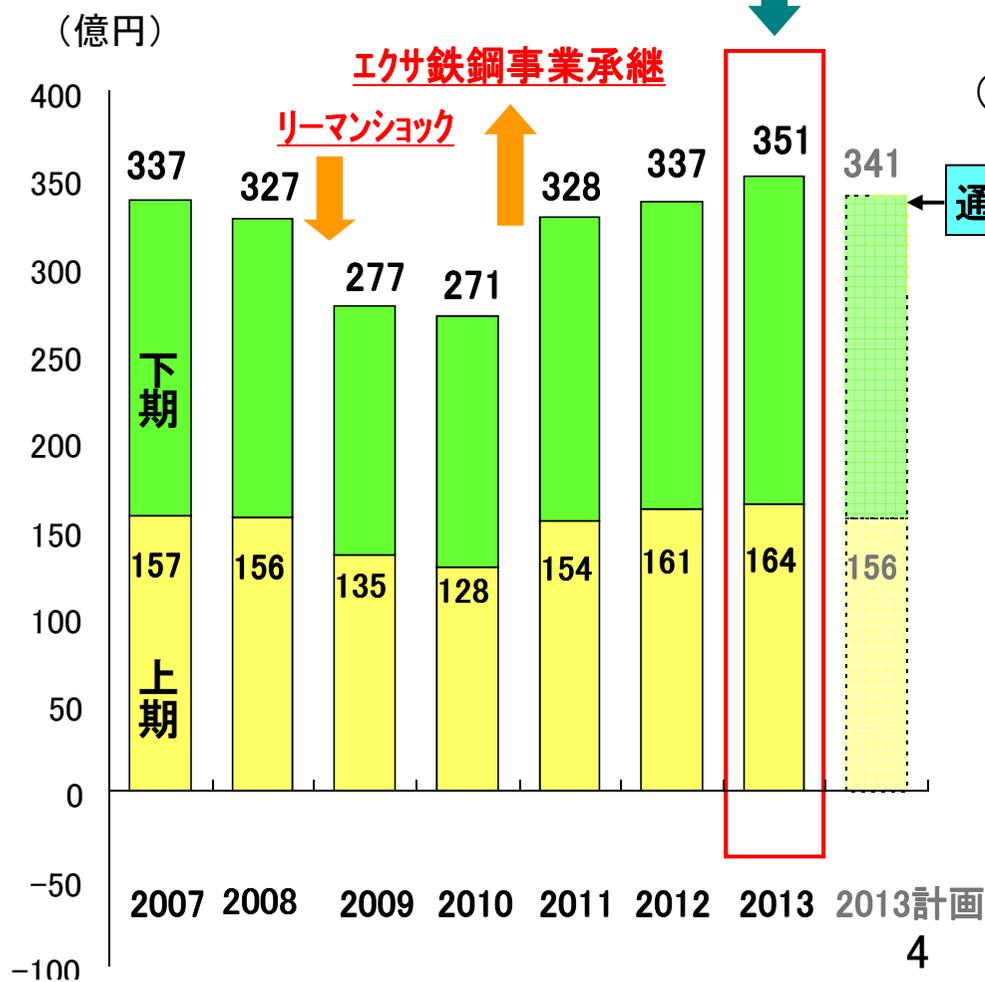
■ 上期、通期とも前期比増収の見込み

【2013連結経常利益の概要】

■ 上期：案件構成変化により前年同期比減益
 ■ 通期：前期比増益の見込み

< 連結売上高 >

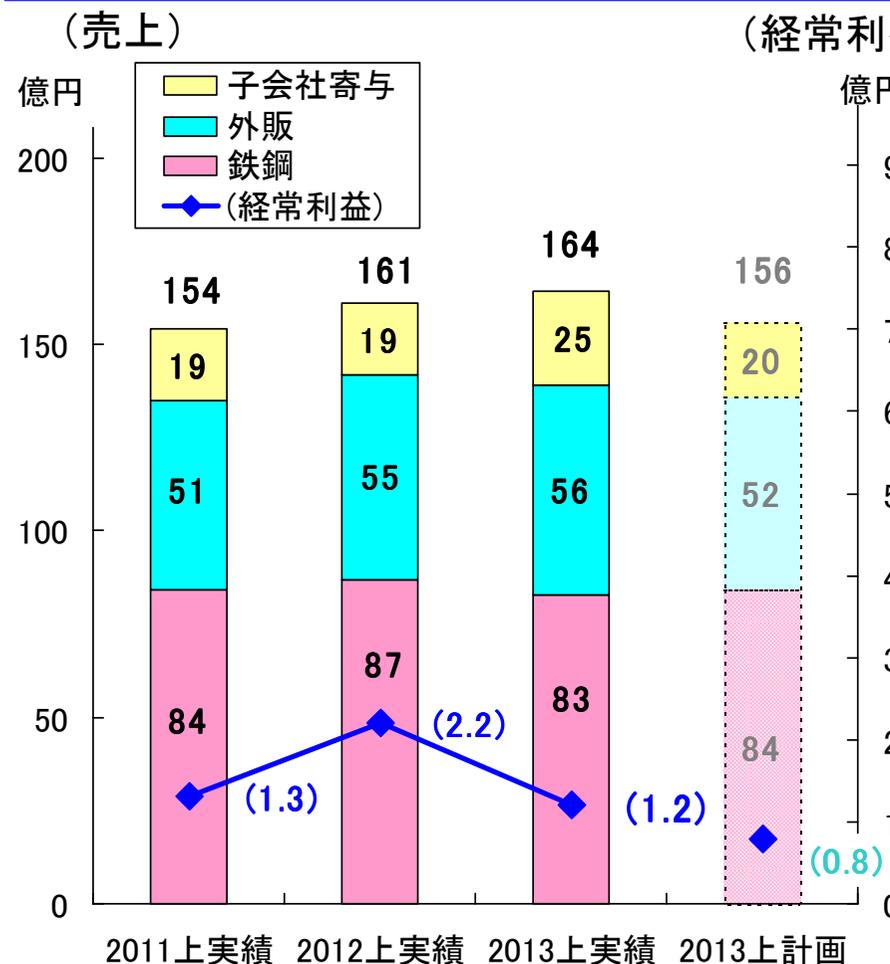
< 連結経常利益 >



I . 2013年度上期 (4月～9月)決算概況

2013年度上期業績の概要 (連結: 前年同期比)

- 売上高は、前年同期比、計画比とも増収を達成。
 - ・鉄鋼向けはグループ会社向けで減少するも、外販製造流通向けおよび子会社KITシステムズのITインフラサービスの売上増によりカバー。
- 経常利益は、前年同期比減少するも計画は達成。



<前年同期比売上増減>

連結子会社寄与 (億円)	
・KIT:ITインフラサービス等	+6.5

外販事業 (億円)	
・製造流通向け	+2.0
・食品	+0.7
・金融向け	+0.4
・eドキュメント	△0.6
・ERP他	△1.5
合計	+1.0

鉄鋼向け事業 (億円)	
・スチール向け	+0.3
・グループ会社	△4.3
合計	△3.9

2013年度上期業績(連結:前年同期比)

■前年同期に比べ売上高は増加。

単位:百万円

	2012年度 上期実績	2013年度 上期実績	増減	
			金額	率
売上高	16,076	16,434	359	2.2%
売上総利益	2,700	2,601	△99	△3.7%
(売上総利益率)	16.8%	15.8%	(△1.0ポイント)	
営業利益	211	114	△97	△46.2%
経常利益	223	118	△106	△47.3%
(経常利益率)	1.4%	0.7%	(△0.7ポイント)	
当期純利益	114	46	△68	△59.9%

2013年度上期業績(連結:計画比)

■計画比増収増益を達成

単位:百万円

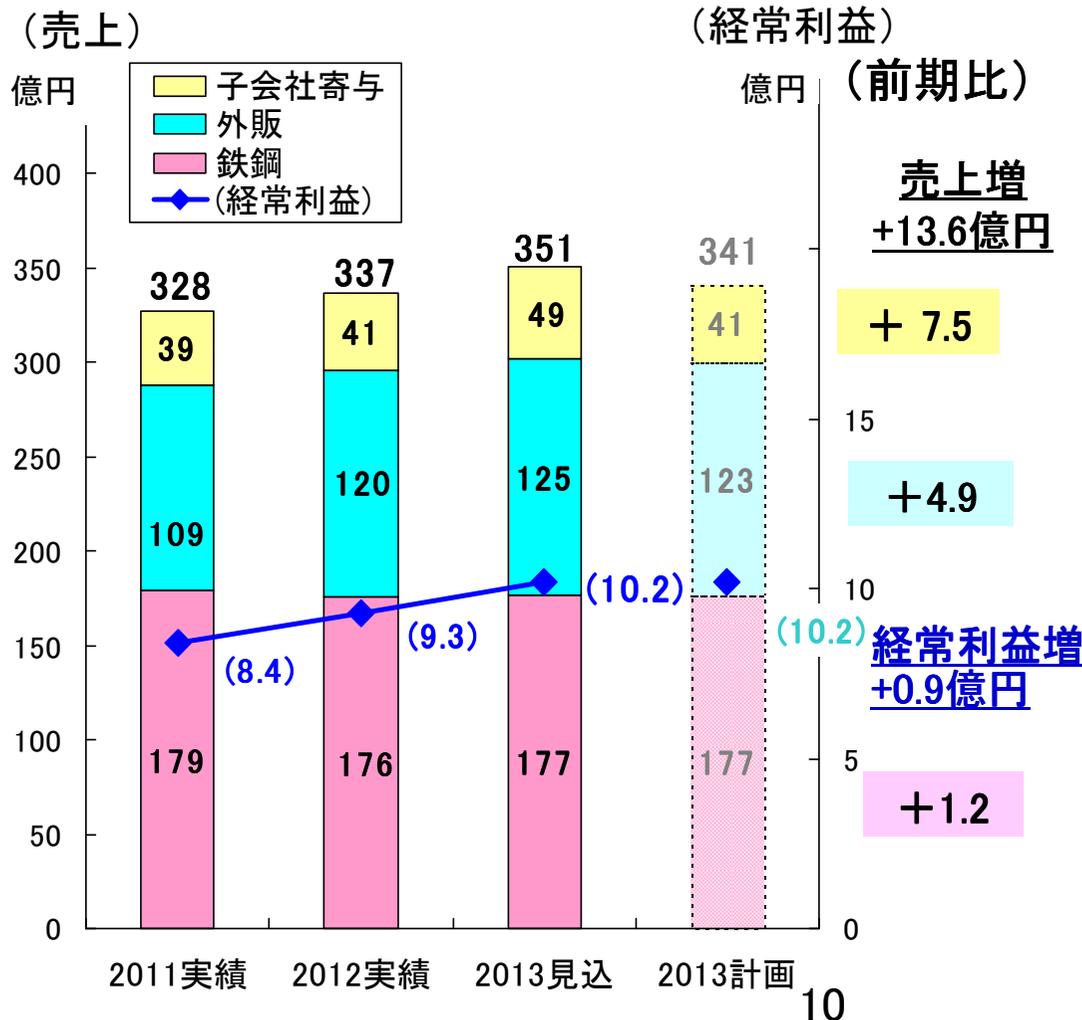
	2013年度 上期計画	2013年度 上期実績	増減	
			金額	率
売上高	15,600	16,434	834	5.3%
営業利益	80	114	34	42.1%
(*) 経常利益	80	118	38	47.2%
(経常利益率)	0.5%	0.7%	(＋0.2ポイント)	
当期純利益	30	46	16	52.3%

(*)経常利益 鉄鋼向け品質・生産性向上および外販製造流通向けのプラスが寄与し、
計画を達成。

Ⅱ . 2013年度業績見通し

2013年度見通し概要 (連結: 前期比)

- 製造流通向けの拡大等により、前期比増収増益の見込み。
- 子会社KITシステムズのITインフラサービス拡大も、連結売上高増加に寄与。



< 前期比売上増減 >

連結子会社寄与 (億円)

- ・KIT:ITインフラサービス等 +7.5

外販事業 (億円)

- ・製造流通向け +3.6
- ・eドキュメント +0.9
- ・金融 +0.2
- ・その他 +0.2
- 合計 +4.9

鉄鋼向け事業 (億円)

- ・スチール向け +3.9
- ・グループ会社 Δ 2.7
- 合計 +1.2

2013年度見通し(連結:前期比)

■前期比増収増益を見込む。

単位:百万円

	2012年度 実績	2013年度 見通し	増減	
			金額	率
売上高	33,736	35,100	1,364	4.0%
営業利益	923	1,020	97	10.6%
経常利益	926	1,020	94	10.1%
(経常利益率)	2.7%	2.9%	(+0.2ポイント)	
当期純利益	503	520	17	3.3%
EPS(円/株)	64.08	66.22	2.14	3.3%

2013年度見通し(連結:計画比)

- 上期売上増を受け、通期増収を見込む。利益は計画値通り。

単位:百万円

	2013年度 計画	2013年度 見通し	増減	
			金額	率
売上高	34,100	35,100	1,000	2.9%
営業利益	1,020	1,020	0	—
経常利益	1,020	1,020	0	—
(経常利益率)	3.0%	2.9%	(△0.1ポイント)	
当期純利益	520	520	0	—
EPS(円/株)	66.22	66.22	0	—

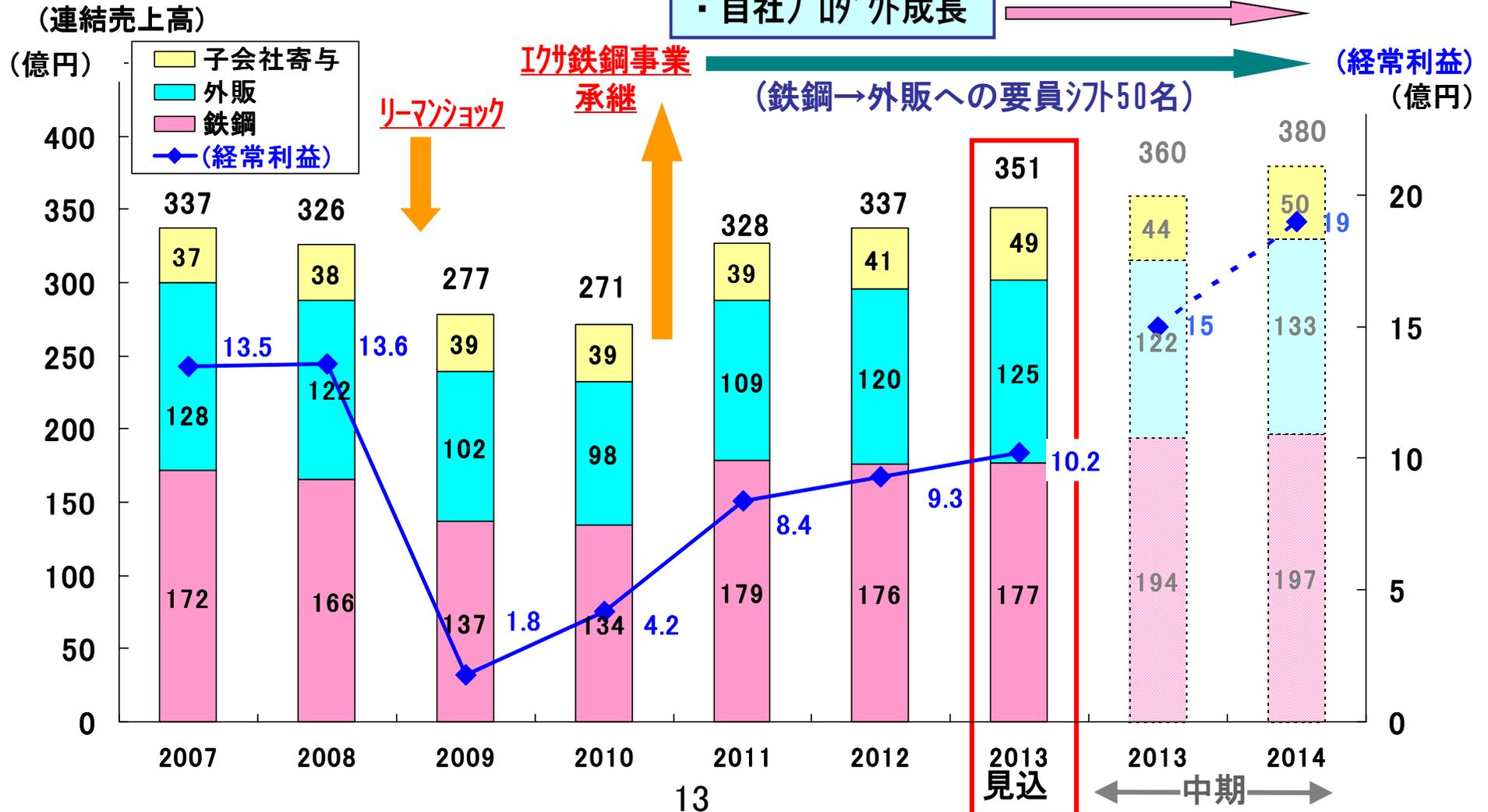
連結売上高・経常利益の推移

成長施策への投資

- ・ 基盤ビジネス拡大
- ・ スマートデバイスソリューション開発
- ・ 戦略提携推進 等

中期主要課題の推進

- ・ 鉄鋼体質強化
- ・ SI事業基盤拡大
- ・ 自社プロダクト外成長



Ⅲ. 中期課題の推進と主な取組み

中期課題の推進と主な取組み

中期主要事業課題(競争力強化)の推進

鉄鋼事業統合を梃子にした体質強化

- ◆地域、組織を超えたシステム共通化活動推進中
- ◆企画・提案人材の外販シフトを実施(50名)

SI事業基盤の強化・拡大

- ◆自動車領域でビジネスを拡大
- ◆自社ソリューション拡大とERP連携強化により新規顧客を獲得

自社プロダクト・ソリューション事業の更なる成長

- ◆eドキュメント新規業務分野を拡大
- ◆食品事業拡大

戦略的アライアンスの推進

⑧ (株)ビジネスブレイン太田昭
との資本・業務提携

⑦ MQネットの拡大
(原料規格書サービス)

① 鉄鋼システムの
共通化

成長分野への投資

② 基盤ビジネス本格展開
のための取組み

製造流通ビジネスの拡大

③ 自動車顧客向け
売上の拡大

④ 原価・購買等
自社ソリューションの拡大

⑤ 帳簿データ
保存ソリューション

⑥ FiBridgellタブレット対応

①鉄鋼システム統合・共通化への取組み

【鉄鋼システム共通化への取組み状況】

- リアルタイムで全社現品情報を把握 = 統合現品DB =
- 製鉄所システムの共通化への取組み（価値の高い領域から）



JFEスチールと連携したプロジェクトで製鉄所システム共通化を推進中

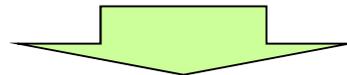
②基盤ビジネス本格展開のための取組み

■顧客のニーズ

- 老朽化が進んだIT基盤の刷新
- IT基盤コストの削減
- 海外展開を睨んだ業務システム再構築
- BCPの推進

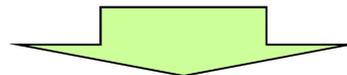
■当社の強み

- JFEGr会社や外販顧客向けビジネスで得た独自のノウハウ
- 業務システム再構築の経験
- 仮想化基盤技術とクラウド構築



今後成長が見込まれる

仮想化・クラウド基盤ビジネスを本格的に展開

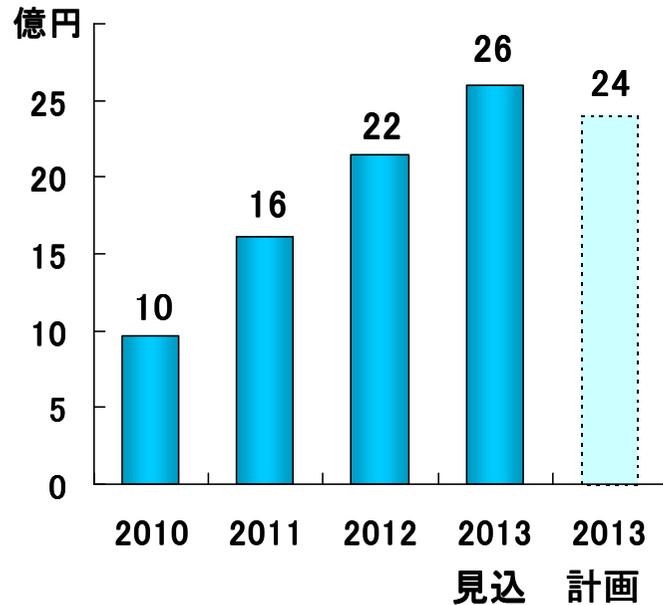


<当面の活動内容>

- ①「仮想化基盤構築・運用パッケージ」を立上げ(2013下期より本格販売)
- ②クラウドサービス拡大に向けて技術研究、ソリューション開発等を推進

③自動車顧客向け売上の拡大

【自動車顧客向け売上推移】



■主な担当領域

- 品質保証
- グローバル組立ライン操業管理
- 次世代IT基盤整備
- 販社システム再構築

＜当社の戦略＞

①製造業に精通した
コンサル、プロマネを投入

②高品質のシステム
開発・保守

③顧客の信頼を高め、保守ビジネス継続

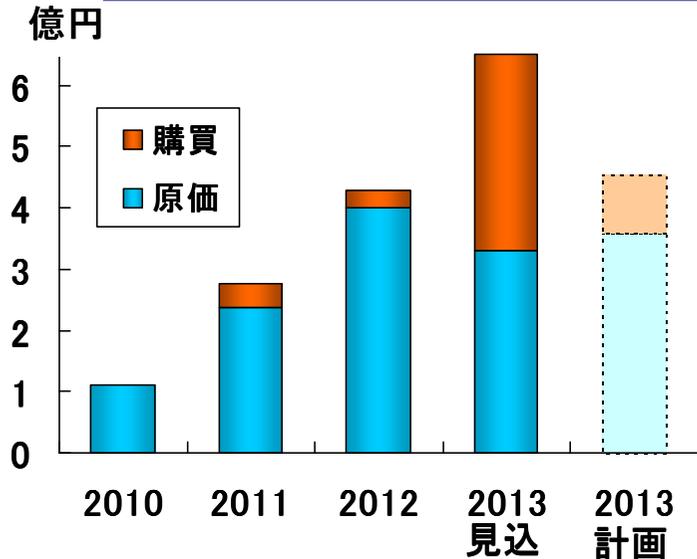
自動車のIT投資は
堅調に推移

④さらに他領域での提案機会獲得

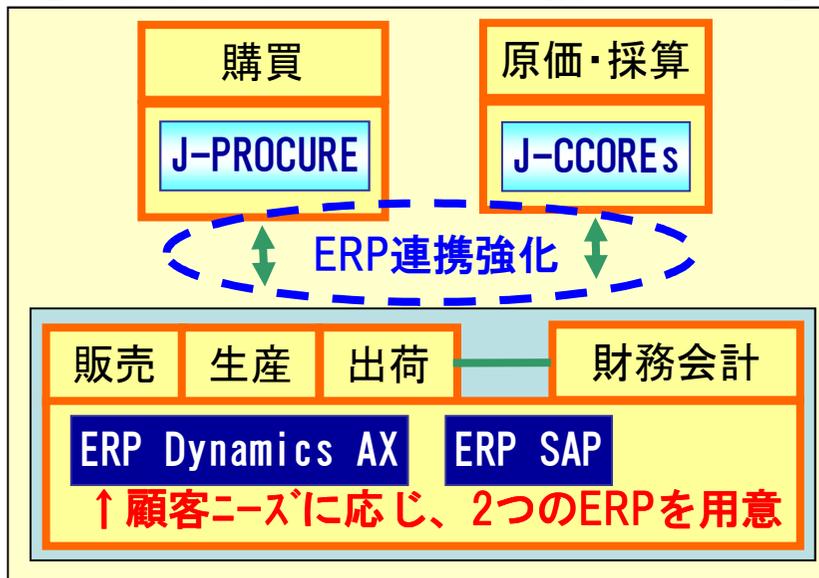
◆ 新規領域獲得を通じて
更なる事業拡大を目指す

④原価・購買等自社ソリューションの拡大

原価、購買ソリューション売上推移



【当社製造流通ソリューション構成の一例】



＜自社ソリューションの強み＞

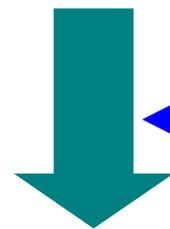
①顧客のきめ細かい管理要件に対応

→ERPで不足する機能を補完

- ・ 原価管理 「J-COREs」
- ・ 購買管理 「J-PROCURE」 etc

②自社ソリューションとERPを連携

ex) JFEスチール海外拠点システムを構築



原価管理、購買管理における
業務改革ニーズの高まり

◆ 原価、購買ソリューションが順調に拡大

◆ ERPとの連携強化により価値が高め、
更なる新規顧客獲得を目指す

⑤帳簿データ保存ソリューション

- 法人税法では「国税関係帳簿書類」の7年間の保存が義務付けられており、「電子帳簿保存法」の申請を行うことにより、電子的な保存が可能になる
- 「国税関係帳簿書類」には「**帳簿**」と「**書類**」の2種類があり、**双方へ対応が必要**
- 一般的な電子帳票システムは、「書類」のみを対象としている
…「書類」の電子保存が対象の *FiBridge II* も電子「帳簿」保存と認められない



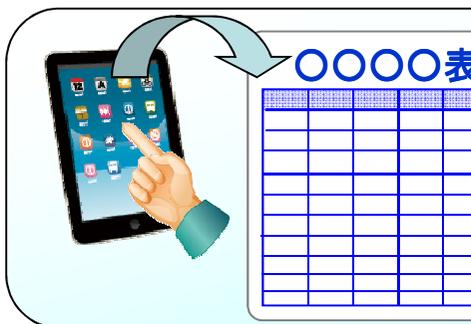
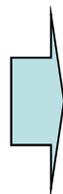
◆ 電子帳票系保存ソリューションの中で、当社「帳簿データ保存ソリューション」

 DataDelivery® は「帳簿」の申請が可能です

⑥ *FiBridge II* タブレット対応

- 「*FiBridge II*」タブレット対応により、電子帳票システムの基本性能に、タッチ操作によるインターフェースを加え、**業務適用範囲を拡大**
- 訪問先での各種帳票の確認・打合せ、生産現場での在庫確認等、帳票業務の電子化を推進し、**更なる業務効率改善と付加価値を拡大**

< *FiBridge II* タブレット端末活用事例 >

An illustration of a hand pointing at a tablet screen, with a blue table icon above it. The table has the text "〇〇〇〇表" (〇〇〇〇 Table) above it.

①流通販売支援(店舗指導等)
②営業支援(訪問先での打合せ等)
③生産現場業務支援(在庫確認等)
etc.

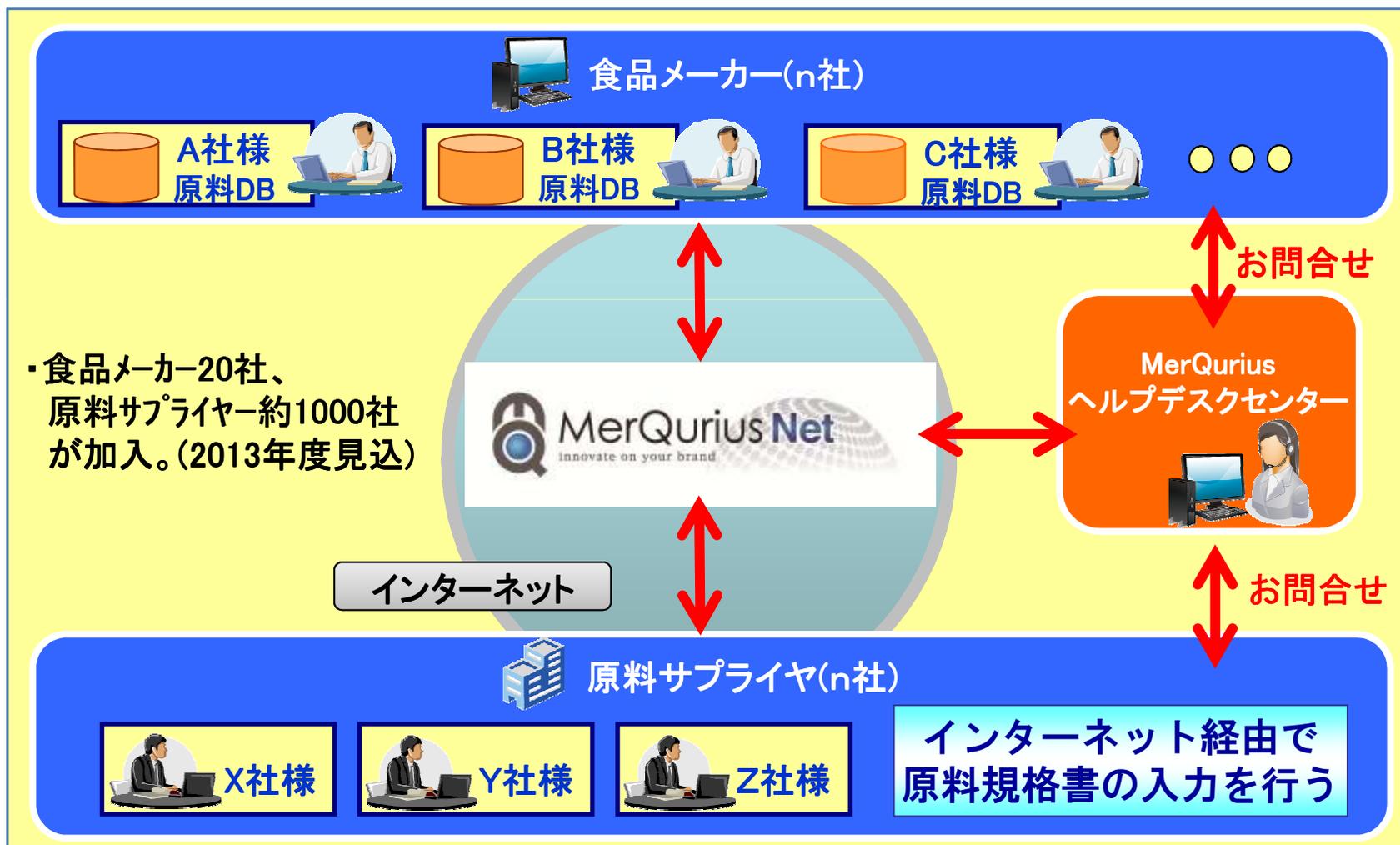


⑦MerQuriusネットサービスの拡大

■食品メーカーと原料サプライヤーの情報連携(原料規格書)をネットサービスで実現

○大手食品メーカー10数社の協力を得て**原料規格書を共通化**

○食品メーカーと原料サプライヤーの情報共有の迅速化、運用負荷低減を実現



⑧戦略的業務提携の推進

- (株)ビジネスブレイン太田昭和(BBS)に出資し、戦略的な業務提携を推進
(2013年5月23日プレスリリース)



- ◆ 連携強化のため株式3.3%取得
- ◆ お互いの強みを活かし、お客様に提供する価値を高める活動を進める
(Ex.) BBS 上流コンサル+JFESI ソリューションの組み合わせ
- ◆ 相互のソリューション活用



JFEシステムズ株式会社

ご清聴ありがとうございました。

(ご注意)

本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。